

2025年度 出力制御見通しについて

2025年9月24日

関西電力送配電株式会社

＜シミュレーションの前提条件＞

- 需要、太陽光・風力の前日想定値・実績値は2023年度データを使用
- 需要は、至近の実績をふまえ、2023年度需要から約1.0%減を考慮
- 太陽光・風力の設備量は、2025年3月末設備量に至近の増加量を考慮
- 火力は、エリア需給運用において必要最小限を織り込む
- 供給力は、2025年度補修計画を織り込む
- 連系線活用量は、至近実績をふまえ、4連系線の運用容量合計の35%受電として算定
(2025年度のうち、再エネ制御を実施した時間帯における連系線の実績平均)

2. 2025年度の再エネ出力制御の見通しについて

3

〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2025年度 見込み	1.27% (0.59億kWh) 太陽光：1.29% 風力：0.54%	0.46% (0.06億kWh) 太陽光：0.47% 風力：0.22%	0.46% (0.09億kWh) 太陽光：0.46% 風力：0.20%	0.93% (0.04億kWh) 太陽光：1.18% 風力：0.12%	0.93% (0.78億kWh) 太陽光：0.96% 風力：0.29%	0.64% (0.66億kWh) 太陽光：0.66% 風力：0.29%
(参考) 2025年度 エリア全体オンライン化	0.57% (0.25億kWh) 太陽光：0.58% 風力：0.39%		0.57% (0.21億kWh) 太陽光：0.58% 風力：0.39%	0.54% (0.02億kWh) 太陽光：0.58% 風力：0.39%	0.57% (0.48億kWh) 太陽光：0.58% 風力：0.39%	0.46% (0.48億kWh) 太陽光：0.46% 風力：0.39%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	1.37% (0.59億kWh) 太陽光：1.39% 風力：0.57%	0.13% (0.08億kWh) 太陽光：0.13% 風力：0.18%	0.64% (0.66億kWh) 太陽光：0.66% 風力：0.29%

〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2025年度 見込み	0.51% (0.31億kWh) 太陽光：1.34% 風力：0.48%	0.14% (0.01億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.12%	0.15% (0.03億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.12%	0.15% (0.00億kWh) 太陽光：0.15% 風力：0.00%	0.37% (0.36億kWh) 太陽光：0.37% 風力：0.32%	0.36% (0.36億kWh) 太陽光：0.36% 風力：0.32%
(参考) 2025年度 IPIA全体オンライン化	0.13% (0.07億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%		0.13% (0.06億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%	0.14% (0.00億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.00%	0.13% (0.13億kWh) 太陽光：0.14% 風力：0.09%	0.13% (0.13億kWh) 太陽光：0.13% 風力：0.09%

(注) 四捨五入の関係上、合計値が合わない場合がある

※1 オンライン代理制御分（オフライン相当の8時間停止に換算した値）を含む

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

- 4～7月の出力制御実績は、当初想定と比較して増加。
- 8月以降の見通しについても、至近実績をふまえた連系線からの受電量増加と需要の減少、最新の作業計画の反映等により、出力制御が増加する見込み。

項目	内容
需要	4～7月の需要電力量は気温上昇等の影響により、当初想定から月平均で2%程度増加したが、気温補正後の需要電力量は1%程度低下した。 8月以降の需要は、至近の気温補正後の需要実績をふまえ、当初想定から約0.5%減少させて再算定を実施。
連系線活用率	4～7月の出力制御実施日の連系線活用率(受電)は当初想定である20%に対して、35%程度であったことから出力制御量実績が増加した。 8月以降の連系線活用率(受電)は至近実績をふまえ、35%の受電として再算定を実施。
太陽光、風力	- 設備量は概ね当初想定通りであった。 4～7月の太陽光および風力の発電量は、日射量の増加等により、当初想定と比較して6%程度増加したことから出力制御量実績が増加した。 8月以降の太陽光および風力の発電量は、至近の設備導入量の状況を反映して再算定を実施。
揚水、原子力 火力	4～7月の出力制御実施日の揚水ポンプ可能量は、作業工程等の変更により、当初計画と比較して10%程度減少した。 4～7月の原子力発電量は概ね当初想定通りであった。 8月以降は、最新の補修計画を踏まえ、再算定を実施。
その他	—

- 現在のオンライン化状況は以下のとおり。今後も、旧ルールオフライン事業者に対して、ダイレクトメールの送付等の機会を活用しオンライン化の推奨を継続して実施していく。

【関西エリアにおけるオンライン化の状況※】

		2025年3月末	(参考) 2024年9月末
太陽光	①オンライン化率 $((②+④)/(②+③+④))$	74.4%	66.1%
	②新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	176.7万kW	157.7万kW
	③旧ルール、オフライン事業者	87.6万kW	107.6万kW
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	78.6万kW	52.6万kW
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④/(③+④))$	47.3%	32.8%
風力	⑥オンライン化率 $((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))$	58.4%	58.4%
	⑦新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	7.4万kW	7.4万kW
	⑧旧ルール、オフライン事業者	7.4万kW	7.4万kW
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	3.0万kW	3.0万kW
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨/(⑧+⑨))$	28.8%	28.8%

※「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光10kW以上）」について算定。

- 関西エリアの太陽光・風力の導入状況は、以下の通り。
- 2025年3月末時点で太陽光768万kW、風力17万kW。
- 太陽光は年間約30万kWのペースで増加。

[万kW]

